

2025 年度

# 事業報告書

自 2025 年 4 月 1 日

至 2026 年 3 月 31 日

一般財団法人 日本ファッション協会

# 目 次

I. 総括的概要 .....	1
II. 事業実施概況	
1. 情報発信事業 .....	3
(1) 「style-arena.jp(スタイルアリーナ)」事業の推進	
(2) アジアファッション連合会(AFF)事業	
(3) シネマ夢倶楽部	
(4) 働く女性の“今”から豊かな生活文化を考える「Urara:kai」(うらら会)	
2. 顕彰事業 .....	9
(1) 日本クリエイション大賞 2025	
(2) 第23回シネマ夢倶楽部表彰	
3. 地域振興事業.....	12
(1) 生活文化創造都市推進事業(地域会議)	
(2) まち自慢.net(ドットネット)	
4. その他事業.....	14
(1) 動画・Web等請負事業	
(2) 各種イベント・行事等への後援	
(3) 委員派遣	
III. 会議開催状況	
1. 理事会.....	16
2. 評議員会.....	16
IV. 組織	
1. 組織図.....	17
2. 役員(理事・監事)・評議員・顧問・参与・相談役.....	18

# I. 総括的概要

2025 年度、当協会は設立の趣旨である「『衣食住』の枠を超えた豊かな生活文化の創造・発展」に向けて、時宜に応じたファッション情報等を発信する「情報発信事業」、日本クリエイション大賞、シネマ夢倶楽部表彰の「顕彰事業」、生活文化創造都市構想を後押しする「地域振興事業」を中心に、賛助会員企業・団体の社会貢献活動やニーズに寄与すべく事業を展開した。主な活動内容は以下のとおりである。

## 1. 情報発信事業

ファッション情報等を国内外に発信するという観点から 4 つの事業に取り組んだ。

- (1) 東京のストリートファッションを紹介する情報発信サイト「style-arena.jp(スタイルアリーナ)」事業は、服飾ファッション情報のみならずヘア&メイク、グルメなどライフスタイル全般に注目し、様々な記事を掲載し幅広い層に向けた情報発信に努めた。

さらに 2025 年度は、「style-arena.jp(スタイルアリーナ)」事業のマネタイズ化を目指して、リサーチ&コンテンツ開発サービス『顔の見えるインタビュー調査』を開始するとともに、その理解促進のための周辺施策として、自主調査を実施した。

- (2) アジアファッション連合会(AFF)のシンガポール大会に参加し、加盟各国の「ファッション産業の現状と課題」をテーマに情報共有・意見交換を行った。また、韓国でのテキスタイル展示会への参加者募集の協力を行った。

- (3) シネマ夢倶楽部事業は、毎月、新聞紙面「シネマ 21PLUS(プラス)」(東京新聞朝刊)ならびに「会議所ニュース」(日本商工会議所)において推薦映画の情報発信を行った。

その他、他団体との連携事業(運営協力)として、推薦映画の情報発信などイベント等に対して運営の協力を行った。

- (4) 働く女性の“今”から豊かな生活文化を考える「Urara:kai(うらら会)」は、ビジネス・ミーティング(セミナー)、会員交流会等を開催した。

## 2. 顕彰事業

「日本クリエイション大賞 2025」ならびに「第 23 回シネマ夢倶楽部表彰」の選考を実施し、表彰式を3月 24 日に 185 名の参加者を得て開催した。

- (1) 2025 年度の日本クリエイション大賞は、113 件の候補案件の中から、万博のパビリオンや大型ドームなどの膜技術による構造物で、世界を牽引する太陽工業株式会社が受賞した。

1922 年に創業した同社は、当時から新しい技術を積極的に導入した製品開発を進め、大型膜構造物だけでなく、物流、治水・防災、環境分野まで多角的に膜技術を展開し、世界各地で実績を積み上げている。

- (2) シネマ夢倶楽部表彰は 23 回目を迎え、「ベストシネマ賞」に 2025 年の推薦映画 283 作品の中から『国宝』ほか2作品を、「シネマ夢倶楽部賞」は市民ボランティアが運営する『新潟・市民映画館シネ・ウインド』を、「推薦委員特別賞」に『秒速 5 センチメートル』監督の奥山 由之氏と、同作ならびに『国宝』出演の森 七菜氏を選定した。

## 3. 地域振興事業

生活文化創造都市構想を後押しする観点から以下の事業に取り組んだ。

- (1) 「生活文化創造都市フォーラム『宇部地域会議』」を 10 月 29 日に、「彫刻のまちづくり」をテーマに宇部市で開催した。

- (2) 「生活文化各地域の観光情報などを発信する Web サイト「まち自慢.net(ドットネット)」では、2025 年度 1 年間に、56 件の各種情報を発信した。

#### 4. その他事業

- (1) 動画・Web 等請負事業

style-arena.jp 事業で培ったノウハウを活かし、賛助会員企業・団体等からのニーズに対応する動画制作、Web 制作やハイブリッドセミナー・イベント等の請負事業を実施した。

- (2) 各種イベント・行事等への後援

生活文化関係の各種イベント・行事等への後援を実施した。

- (3) 委員派遣

他団体の事業に対し、審査員等の派遣を行った。

#### 5. 会議開催状況

当協会の運営をつかさどる理事会を3回、評議員会を2回開催し、円滑な運営に努めた。

## II. 事業実施概況

### 1. 情報発信事業

#### (1) 「style-arena.jp(スタイルアリーナ)」事業の推進

「style-arena.jp(スタイルアリーナ)」事業は以下のコンテンツから構成されており、内外に向けて情報発信を行っている。

##### ① TOKYO STREET STYLE(トウキョウストリートスタイル)

東京で注目の5地点(原宿、渋谷、代官山、表参道、銀座)のストリートファッションを、2002年から定点観測し、最新のストリートファッションをWebおよびSNSを通じて発信している。この5地点以外にも随時、話題の地域のストリートファッション情報の発信も行っており、2025年度は、下北沢、新宿などの情報も発信した。

2023年度から本格運用を開始したInstagram版 style-arena.jp(スタイルアリーナ)では、スナップ画像に加えて、インタビュー形式の「動きのある」ショート動画を積極的に掲載している。スナップモデルのインサイトを切り取ったショート動画は、若い世代の共感を呼び、閲覧数および「いいね!」の数も増加傾向にあり、フォロワー数は4万7千人に上っている(昨年度は3万7千人)。



##### ② TREND NEWS

Web版 style-arena.jpでは、話題のグルメ、ヘアスタイル、メイクアップ、ファッションカラー、フラワーデザインなど服飾トレンドのみならず衣食住すべてに渡るトレンドを敏感にキャッチし、それぞれの専門家を交えながら特集記事も掲載している。

2025年度は、上海ファッションウィーク、東京クリエイティブサロン、TOKYO GIRLS COLLECTION[写真]、K-Cosme Black Friday Festivalなどの情報を発信した。

このほか、産地・地域振興を目的とする福島市事業「ふくしまシルクロードの旅」については、昨年度に引き続きPR支援を実施した。欧州・アジアのバイヤーを対象に、市場性や関心度の把握に取り組み、ツアーの市場適合性および販路開拓の可能性について検証を行った。



### ③ NEW TRIBE

一般トレンドになるかもしれない局地ブーム型ファッション・スタイルをテーマごとに Web 版 style-arena.jp に掲載している。

2025 年度は、「FURUGI」「酷暑ファッション」「日傘男子」「腰魅せファッション」などを取り上げ、分析しながら写真とともに解説している。

こうした取り組みにより、各メディア・団体との連携も進み、トレンド情報や画像の提供につながっている。

提供先	内容
関西ファッション連合	2026 年秋冬ファッショントレンドの兆し〜コレクションとストリートの交差点〜
東京商工会議所渋谷支部	Z 世代知り、渋谷を動かす「消費の未来」をつかむ
博報堂プロダクツ	トレンド分析と画像提供
日本繊維情報 (ダイセン)	新聞記事および広告
季刊「流行色」	画像提供および広告掲載
共同通信イメージズ	スナップ画像販売

### 《『顔の見えるインタビュー調査』の開始》

style-arena.jp 事業で培ったノウハウ、コミュニティメンバーのネットワークを活かして、style-arena.jp 事業のマネタイズ化を目指して、リサーチ&コンテンツ開発サービス『顔の見えるインタビュー調査』を開始。2026 年1月にはランディングページを公開した。そして、その理解促進のための周辺施策として、以下の 10 件の自主調査を実施した。



- 最新！Z 世代のリアル事情 2025. 「守る」から「楽しむ」へ進化する UV ケア&夏メイク（4 月 30 日公表）
- “誰にも言っていない”と答えた人が 8 割！おしゃれな Z 世代の美容習慣&本命スキンケアコスメとは？（5 月 29 日公表）
- Z 世代おしゃれ層×“スキンケア”と“エモ消費”から見る、市場拡大のヒント（6 月 30 日公表）
- ティント vs プランパーから見る、信頼を生むアプローチ。おしゃれな Z 世代の本音とブランドが求められる進化（7 月 30 日公表）
- おしゃれな Z 世代のヘアカラー事情から紐解く、ネガティブ要素を強みに変える新たな視点（9 月 3 日公表）



- 無加工でも映える“違和感ゼロ盛れ”アイメイク。おしゃれな Z 世代が求める理由（9月30日公表）
- おしゃれな Z 世代のポーチの中身から見る、メイクの購買行動と選択理由（11月28日公表）
- おしゃれな Z 世代のポーチの中身が“変わらない”理由～「崩れない仕組み」を朝につくり込んでいる～（12月25日公表）
- おしゃれな Z 世代のポーチの中身が“変わる”理由「今日はこれを選ぶ」ファッション×メイク意思決定（2026年2月6日公表）
- おしゃれな Z 世代というアーリーアダプター。そのインサイトが示す次のトレンドのヒント（3月2日公表）

これらのアンケート結果はPR TIMESを通して発表しており、織研新聞、CREA WEB、朝日新聞デジタルマガジン&[and]、NIKKEI COMPASS、ORICON NEWS など、累計で延べ451のサイトに掲載された。

## （2）アジアファッション連合会(AFF)事業

アジアファッション連合会(AFF)は、豊かな生活文化の創造と、アジアファッションを世界に発信することを目的に2003年12月に日本、中国、韓国の連合会として発足。その後、シンガポール、タイ、ベトナムが加盟し、広域連携による活動を展開してきた。

活動の中心となる AFF 大会は、生活文化向上の啓発、および参加国の相互理解・交流をベースとしたファッションビジネスの活性化を目的に、2015年のベトナム大会から、2年に一度、加盟国の持ち回りで開催しているが、2025年度は9月24日～26日の日程でシンガポール大会が開催された(主催:シンガポール ファッション カウンシル)。

各国団体(日本・中国・韓国・タイ・シンガポール・ベトナム)からベトナムを除いた5カ国 14名が参加し、代表委員会議、関連施設の視察、国際イベントへの参加を通じて、アジア各国のファッション産業の現状と今後の方向性について共有・議論を行った。

### ー代表委員会議ー

加盟各国のファッション産業の現状と課題について情報共有を実施。共通課題として「サステナビリティ」「デジタル化」「付加価値創出」が挙げられた一方、各国の特徴として、中国は内需と生産量、韓国はブランド力とスピード、シンガポールはハブ機能、タイは製造力、日本は技術・文化価値といった強みが確認された。



これらを踏まえ、今後の連携強化の必要性を確認し、次回大会を2027年にタイで開催することとした。

### ー関連施設視察ー

シンガポール ファッション カウンシルが運営する「The Cocoon Space」では、若手デザイナー育成や企業連携によるブランド支援の仕組みを視察。また、同カウンシルが運営する「DORS」では80以上の地元ブランドを取り扱い、観光と連携した販路拡大の取り組みが行われている。

### ー教育機関視察ー

ラッフルズ デザイン研究所を訪問。ファッション・プロダクト等の分野で国際的な教育を展開し、短期資格取得制度や海外ネットワークを活用した人材育成の取り組みを確認した。

## ーシンポジウム／ファッションショーー

シンガポール ファッション カウンシルが毎年開催しているファッション分野の国際会議(シンポジウム)「Be The Change Summit 2025」では、持続可能性やテクノロジー活用、労働環境などファッション産業の将来課題について議論が行われた。また同カウンシルが毎年開催しているファッションショー「Singapore Stories」では、持続可能性や多様性をテーマにしたデザイン発表やインクルーシブデザインの表彰が行われ、次世代ファッションの方向性が示された。



シンガポール大会への参加のほか、テキスタイル展示会(プレビュー・イン・ソウル(8月)、プレビュー・イン・テグ(3月))への参加者募集の協力を行った。

### (3) シネマ夢倶楽部

シネマ夢倶楽部は日本ファッション協会の情報発信事業の一つとして、「多くの人に良質な映画を見て感動してほしい」、「夢や希望をもって心豊かに暮らしてもらいたい」と考え活動している。上映される数多くの映画の中から、どの映画を見るべきか、感動する映画はどれか、といった視点で選考を行うことが特徴である。

メディアから流される映像や広告表現、記事などに惑わされることなく純粋に映画を楽しみ、愛好し鑑賞する立場から、良質な映画を選び推薦している。主な事業は以下のとおり。

#### ① 映画情報の発信

##### 1) 「シネマ 21PLUS(プラス)」の掲載

推薦映画作品を以下の推薦委員のコメントとともに東京新聞(朝刊5段)で毎月1回掲載している。

また、2025年ベストシネマ賞などの発表を表彰式当日(2026年3月24日)の東京新聞紙面(朝刊カラー3段、夕刊ラテ面カラー10段)にて行った。



##### 2) 新聞、雑誌への掲載

日本商工会議所が発行する「会議所ニュース」にておいて推薦映画を紹介した(2009年度から毎月1回、夏休み・年末年始特集記事を含む)。

《推薦委員(敬称略・順不同・2026年3月31日現在/15名)》

推薦委員長 渡辺 俊雄(元NHK衛星映画劇場 支配人)

推薦委員	浅香光 健 (演劇舞踊浅香流 名取)
	安藤 紘平 (映画監督、早稲田大学 名誉教授)
	掛尾 良夫 (田辺・弁慶映画祭ディレクター)
	檜山 文枝 (女優)
	三遊亭 小圓楽 (落語家)
	高木 直 (ワインエキスパート)
	高見 恭子 (タレント/文筆家)
	伊達 彰夫 (リテールビジネス研究所 顧問)
	田中 千世子 (映画評論家)
	坪田 秀治 (日本商工会議所 参与)
	鳥越 孝治 (元株式会社 ダイドーリミテッド 社長)
	西山 昭彦 (立命館大学 教授、博士(経営学))
	宮川 直美 (医師)
	渡辺 祥子 (映画評論家)

## ② 他団体との連携事業(運営協力)

一般社団法人日本メンズファッション協会が主催するグッドエイジャー賞(9月3日)、ベストドレッサー賞(11月26日)への運営協力のほか、第20回 那須ショートフィルムフェスティバル(11月8日～16日)に、シネマ夢倶楽部推薦委員2名を審査員として派遣(第11回から主催協力)した。

## (4) 働く女性の“今”から豊かな生活文化を考える「Urara:kai(うらら会)」

「Urara:kai(うらら会)」は、「新しい時代に相応しい豊かな生活文化、ライフスタイルのあり方について女性の視点から考察、提唱すること」を目的に、ビジネス・ミーティング(セミナー)、企業訪問などの事業を実施した。

### ① 会議

#### 1) 総会

日 時：4月28日 19:00～20:00

場 所：日本ファッション協会 会議室

議 件：2024年度 事業報告(案)ならびに収支決算(案)について  
2025年度 事業計画(案)ならびに収支予算(案)について  
役員の交代(案)について

#### 2) 実行委員会 10回

4月9日、5月30日、6月19日、7月24日、9月8日、10月9日、  
11月21日、2026年1月27日、2月18日、3月30日

### ② ビジネス・ミーティング

#### 1) 演 題：歌舞伎の今、そしてこれから

講 師：関 容子氏 エッセイスト

日 時：6月26日 18:30～20:00

場 所：AP 新橋

参加者：16 名

- 2) 演 題：医療の質の測定・改善～もっと話せる、もっと伝わる関係をめざして～

講 師：福井 次矢氏

学校法人 日本薬科大学 学長、  
日本クリエイション大賞選考委員

日 時：11 月 14 日 18:30～20:00

場 所：AP 新橋

参加者：13 名



- 3) 演 題：ランウェイとストリートが紡ぎだすトレンドの芽

～style-arena.jp の現場から見えてくる 2026 秋冬～

講 師：福嶋 あゆみ氏 一般財団法人 日本ファッション協会

日 時：2026 年 3 月 5 日 18:30～20:00

場 所：AP 新橋

参加者：18 名

### ③ 企業訪問

花王株式会社 小田原工場（花王コスメプロダクツ小田原）見学会

日 時：12 月 5 日 14:45～15:45

参加者：9 名

### ④ 会員交流会

- 1) 夏の交流会

日 時：7 月 7 日 18:30～

場 所：松屋銀座「美しくなるビアガーデン」

参加者：10 名

- 2) 冬の交流会

日 時：2026 年 1 月 27 日 19:00～

場 所：「外苑飯店」

参加者：12 名

備 考：交流会に先立って、実行委員会、パソナ・スクエア見学会を開催

## 2. 顕彰事業

2026年3月24日、帝国ホテル東京・本館3階「富士の間」において、「日本クリエイション大賞2025」ならびに「第23回シネマ夢倶楽部表彰」の表彰式を合同で開催した。表彰式に先立って、2025年8月に亡くなられた馬場 彰前理事長への黙祷を捧げた。

表彰式には、受賞者とその関係者他、理事・監事・評議員、賛助会員、プレス含め185名が参加。表彰式後は着席形式にて祝宴を実施した。



### (1) 日本クリエイション大賞 2025

2025年度で22回目(東京クリエイション大賞からの通算では39回目)を迎えた日本クリエイション大賞は、製品、技術、芸術・文化活動、地域振興、環境、福祉など、ジャンルを問わず、未来に向けてクリエイティブな視点で生活文化の向上に貢献し、時代を切り拓いた人物やプロジェクトなどを対象としている。

#### 《選考経過》

2025年度は、事務局による推薦も含めた113件の候補案件を運営委員が43案件に絞り込み、顕彰制度委員会(選考委員会)にて、3回にわたり審議した。最終となる第3回選考委員会では、入賞案件選定のための投票および大賞を決める投票を行い、大賞1件のほか以下の3件を選定した。

#### 【大賞】

「時代を越え、未来を支える多様な膜」  
太陽工業株式会社

〔写真は能村 祐己代表取締役社長〕

#### 【先進洗身賞】

「ベッドで入浴、吸い取るシャワー」  
株式会社 シリウス

#### 【トイレソリューション賞】

「循環する水が創る“エコノワ”」  
株式会社 TI plus ホールディングス

#### 【ローテクの知恵袋賞】

「福岡発、ごみ処理技術が大地を再生」  
松藤 康司氏

福岡大学名誉教授

NPO 法人廃棄物管理アドバイザーネットワーク福岡 理事長



#### 《顕彰制度委員会(選考委員会)の開催状況》

	開催日	会場
第1回	10月16日	TKP ガーデンシティ PREMIUM 神保町

第2回	11月13日	日本商工会議所会議室 AB
第3回	12月11日	日本商工会議所会議室 AB

《顕彰制度委員会(選考委員会)委員(敬称略・五十音順・2026年3月31日現在/13名)》

選考委員長	日覺 昭廣	一般財団法人 日本ファッション協会 理事長
選考委員長代行	岩田 彰一郎	株式会社フォース・マーケティング アンド マネージメント 代表取締役 CEO
選考委員	伊東 順二	アートプロデューサー
	今井 環	公益財団法人 NHK 交響楽団 元理事長
	大田 佳宏	Arithmer 株式会社 代表取締役社長兼 CEO
	大宅 映子	評論家/公益財団法人 大宅壮一文庫 理事長
	加藤 タキ	コーディネーター
	河原 敏文	プロデューサー/ディレクター/CG アーティスト
	永井 多恵子	公益社団法人 ユネスコ国際演劇協会 会長
	原 由美子	ファッションディレクター
	福井 次矢	日本薬科大学 学長
運営委員	高尾 真紀子	法政大学大学院 教授
	山下 健	一般財団法人 日本ファッション協会 専務理事

《後援》

日本商工会議所、東京商工会議所、NHK

(2) 第23回シネマ夢倶楽部表彰

(「ベストシネマ賞」「シネマ夢倶楽部賞」「推薦委員特別賞」)

「ベストシネマ賞」は、毎年1月～12月の国内で公開された新作映画の中から、シネマ夢倶楽部の推薦映画(2025年は283作品)となった作品を対象に、邦画・洋画の区別なく、良質、優秀な作品を選定、表彰するもの。

また、「シネマ夢倶楽部賞」は、映画を通して、文化や生活、社会の発展などに貢献した個人・団体、プロジェクト等を、「推薦委員特別賞」は、新しい時代の映画や才能、意欲的な活躍をした監督・俳優を選定、表彰するもの。

《選考経過》

① シネマ夢倶楽部推薦委員座談会

9月11日、日本ファッション協会会議室において、13名出席(推薦委員10名、アドバイザー3名)のもと、上半期(2025年1月～7月)上映作品のレビューを行った。(シネマ推薦委員は6ページ参照)

② 2025年シネマ夢倶楽部推薦委員会

12月10日、公益社団法人 日本外国特派員協会・ミーティングルームで16名出席(推薦委員13名、アドバイザー3名)のもと選考を行い、例年選定している「ベストシネマ賞」「シネマ夢倶楽部賞」「推薦委員特別賞」を以下のとおり選定した。

## 【ベストシネマ賞】

2025年の推薦映画 283 作品の中から選ばれたベストシネマ 7 作品より上位 3 作品を表彰。

第1位 『国宝』（配給：東宝）

第2位 『教皇選挙』（配給：キノフィルムズ）

第3位 『宝島』

（配給：東映、ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント）〔写真は大友啓史監督〕

このほかに、『遠い山なみの光』、『ファンファーレ！ふたつの音』、『入国審査』、『TOKYO タクシー』（順不同）の4作品を年間ベストシネマに選んだ。



## 【シネマ夢倶楽部賞】

『新潟・市民映画館 シネ・ウインド』

1985年に閉館した映画館を一般市民の支援により再開。以来、上映作品の選定や会報の制作(月刊)、蔵書ライブラリー管理など年会費を納めている会員により自主運営されている。

## 【推薦委員特別賞】

<監督> 奥山 由之 (『秒速 5 センチメートル』監督)  
〔写真〕

<俳優> 森 七菜 (『秒速 5 センチメートル』  
『国宝』出演)



## 《メディア掲載件数》

織研新聞(Web版)、東京新聞(4月2日付紙面〔写真〕・Web版)、新潟日報(紙面・Web版)、「スクリーン」オンライン(Web版)、渋谷クロスFM、映画『秒速 5 センチメートル』公式 Instagram など Web、SNS、放送、紙誌面 10 件

✓ベストシネマ賞第1位に「国宝」

日本ファッション協会による「第23回シネマ夢倶楽部表彰」（東京新聞協力）の表彰式が先月24日、東京・日比谷の帝国ホテルであり、ベストシネマ賞の第1位に「国宝」（李相日監督）が選ばれた。毎年、国内で公開された新作映画からベスト3作品を表彰。専門家らの推薦委員によって選考される。2位は「教皇選挙」、3位は「宝島」。

「国宝」は、歌舞伎界の愛憎劇を濃密に描写。邦画実写の歴代1位の興行収入を記録した。トロフィーを手にした、プロデューサーで制作会社「クレテウス」の松橋真三CEO（最高経営責任者）は一切妥協することなく作った作品を多くの方に見ていただき、さらに受賞できてうれしい。今後も妥協せずに良い作品を作り続けたい」と喜びを語った。

ベストシネマ賞第1位を受賞し、喜びのスピーチをする「クレテウス」の松橋真三CEO（東京都千代田区で）

### 3. 地域振興事業

当協会では地域振興事業として、欧米から始まり現在では中国、韓国などアジアの国々にまで広まった 21 世紀型の都市再生理論「創造都市＝Creative City」に、「地域独自の豊かな生活文化」こそが「創造都市」を生み出すとの考え方を加えた、「生活文化創造都市」構想の普及に取り組んでいる。

このほか、創造都市の取り組みを推進する全国 172 の地方自治体および団体が加盟している「創造都市ネットワーク日本(CCNJ)」メンバーに対して、「生活文化創造都市フォーラム」(地域会議)の開催案内、日本クリエイション大賞の募集要項、表彰式パンフレットなどを配布し、当協会の活動をアピールした。

また、地域相互の経験と知見の交流の場として開設した地域情報発信 Web サイト「まち自慢.net(ドットネット)」では、地方自治体、商工会議所、観光協会などの各種情報を発信している。

#### (1) 生活文化創造都市推進事業(生活文化創造都市フォーラム「宇部地域会議」)

2025 年度は、1961 年に「UBE ビエンナーレ(現代日本彫刻展)」を開始して以降、彫刻を取り入れたまちづくりを推進している山口県宇部市で、「生活文化創造都市フォーラム『宇部地域会議』」を以下のとおり開催した。(次ページに篠崎宇部市長のブログと新聞記事を掲載)

日 時： 10 月 29 日  
会 場： 宇部市役所市民交流棟「交流ホール」  
主 催： 日本ファッション協会  
共 催： 宇部市、宇部商工会議所  
後 援： 日本商工会議所  
参加者： 約 80 名  
内 容： 来賓挨拶



宇部市長 篠崎 圭二 氏

#### 第1部 基調講演

演題:「世界の創造都市と“彫刻のまち”宇部市の可能性」

講師:佐々木 雅幸 氏 創造都市ネットワーク日本顧問  
大阪市立大学名誉教授

#### 第2部 パネルディスカッション

テーマ「“彫刻のまちづくり”に向けて」

コーディネーター:

野田 邦弘 氏 横浜市立大学大学院客員教授  
東京大学まちづくり大学院非常勤講師

パネリスト:

日沼 禎子氏 女子美術大学 芸術学部 アート・デザイン表現学科 教授

藤原 徹平氏 建築家 株式会社フジワラテッペイアーキテクトラボ主宰  
横浜国立大学大学院 Y-GSA 准教授

守屋 慎一郎氏 合同会社企画室 代表  
株式会社ワコールアートセンター プランナー

山出 淳也氏 アーティスト Yamaide Art Office 株式会社 代表取締役  
BEPPU PROJECT ファウンダー

■宇部市・篠崎市長のブログ(10月29日)

一般財団法人日本ファッション協会が主催する生活文化創造都市フォーラム「宇部地域会議」が「彫刻のまちづくり」を全体テーマとして開催され、ホストシティ代表として挨拶させて頂きました。

\*

#宇部市長の活動報告



■掲載紙 宇部日報(10月30日)



宇部日報

2025年(令和7年)

10月30日 木曜日

活発に意見を述べ合うパネリストたち(市民交流館で)



彫刻を核とした地方創生を

まちづくりシンポジウム  
活性化への道筋学ぶ

同協会は2003年から同フォーラムを全国各地で開催。この日は、国内外の文化芸術による都市再生に詳しい大阪立大名誉教授の佐々木雅之さんが「世界の創造都市と彫刻のまち」宇部市の可能性」と題して基調講演した。

米国の有名な現代美術館を誘致して再生したスペインのビルバオ市、北米最大のごみ捨て場をサカス芸術の世界拠点に変えたカナダ・モントリオール市などの例を紹介。その上で、荒廃した市街を「花と緑と彫刻の

まちづくりシンポジウム「生活文化創造都市フォーラム(宇部地域会議)彫刻のまちづくり」は29日、市役所の市民交流棟で開かれた。彫刻ファンや学生、市民団体関係者ら80人が彫刻による地域活性化の道筋について学んだ。日本ファッション協会(日髙昭廣理事長)主催、市・宇部商工会議所共催。

まち(に)しようとは始まった宇部市野外彫刻展(現「日現現代日本彫刻展」)を「市民の誇りと希望の表現」と高く評価した。

「彫刻のまちづくり」に向け、美術大表展」を「市民の誇りと希望の表現」と高く評価した。口大工学部など芸術と科学技術の融合が可能な基盤があり、観光面では彫刻ツーリズムも期待できる。芸術を核とした地方創生モデル都市のポテンシャルを備えている」と指摘した。

横浜市立大学院客員教授の野田邦弘さんをコ

「彫刻のまちづくり」に向け、美術大表展」を「市民の誇りと希望の表現」と高く評価した。

1回に要する彫刻展の運営などについて活発に意見を述べ合った。

青山佳代市観光スポーツ文化部長は「3年置きに開催で生まれる時間的な余裕を有効活用するための参考にした」と話した。(笠井)

(2) 地域情報発信 Web サイト「まち自慢.net(ドットネット)」

地域情報を発信する Web サイト「まち自慢.net」では、「函館商工会議所創立 130 周年記念事業『街ガチャ@in 函館』販売」や「旅する“茶のくに”八女茶ツアー」など 56 件のさまざまな地域情報を発信した。

URL : <https://www.japanfashion.or.jp/machijiman/>

## 4. その他事業

### (1) 動画・Web 等請負事業

style-arena.jp 事業の実施により培ったノウハウを活かし、賛助会員企業・団体等からのニーズに対応する動画制作、Web 制作等の請負事業を実施している。オンライン会議やウェビナーも引き続き支援している。

#### ① Web 制作・構築、動画制作、スナップ撮影等

##### 1) Web 制作

ポラスグループ、テレワーク協会、日本アパレル・ファッション産業協会の「J∞QUALITY ファクトリーブランドプロジェクト」等、様々な業界の Web プロモーションを制作。

##### 2) 動画制作

ポラスグループ、セブンツーセブン、芸術系教員向け研修事業、フリースクール調査研究事業、日本商工連盟などの動画を制作。

#### ② Web 定期運用

東京ニットファッション工業組合、日本アパレル・ファッション産業協会、日本テレワーク協会などの Web サイトを定期運用。

#### ③ ハイブリッドセミナー・イベントの支援

日本商工連盟、アデコ株式会社などのウェビナーを支援。

### (2) 各種イベント・行事等への後援

企業・団体等が実施するイベント・行事等への後援を通じ側面から支援を行った。(18 件)

イベント・行事	主催	会期
第6回中国遼寧省輸出商品展示会	(一社) 日中経済貿易センター	8月26日～28日
Rakuten Fashion Week TOKYO 2026S/S	(一社) 日本ファッション・ウィーク推進機構	9月1日～6日
倉敷ファッションフロンティア 2025「織博」	倉敷ファッションフロンティア実行委員会	9月～2026年1月
第4回 The Makers・Apparel Show	(一社) 日中経済貿易センター	10月15日～16日
渋谷ファッションウィーク 2025 秋	渋谷ファッションウィーク実行委員会	10月19日
桐生ファッションウィーク	桐生ファッションウィーク実行委員会	10月24日～11月24日
第24回ドリーム夜さ来い祭り	(一財) ドリーム夜さ来い祭りグローバル振興財団	11月2日～3日
Tokyo Textile Scope 2026 A/W	(一社) 日本ファッション・ウィーク推進機構	11月12日～14日
第44回 JAPANTEX2025	(一社) 日本インテリア協会、 (一社) 日本能率協会	11月19日～21日
122nd FASHION & BEAUTY LIVE	(学法) 岩崎学園横浜fカレッジ	11月28日
第18回文化ファッション大学院大学ファッションウィーク	文化ファッション大学院大学 (BFGU)	2026年1月26日～30日

第 101 回東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2026	(株)ビジネスガイド社	2026 年2月4日～6日
第 25 回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会	ファッション甲子園実行委員会	2026 年3月1日～8月 23 日
第 5 回 The Makers・Apparel Show	(一社)日中経済貿易センター	2026 年3月 10 日～13 日
渋谷ファッションウィーク 2026 春	渋谷ファッションウィーク実行委員会	2026 年3月 13 日～22 日
Rakuten Fashion Week TOKYO 2025 A/W	(一社)日本ファッション・ウィーク推進機構	2026 年3月 16 日～21 日
Tokyo Textile Scope 2027 S/S	(一社)日本ファッション・ウィーク推進機構	2026 年4月 15 日～17 日
2026 大阪国際ライフスタイルショー／浙江省輸出商品(大阪)交易会	浙江省商務庁、(一財)大阪国際経済振興センター	2026 年9月9日～11 日

### (3) 委員派遣

日本プラスチック日用品工業組合「プラスチック日用品優秀製品コンクール」審査委員  
 日本フラワーデザイナー協会「花ファッショントレンド検討会議」委員

### Ⅲ. 会議開催状況

#### 1. 理事会

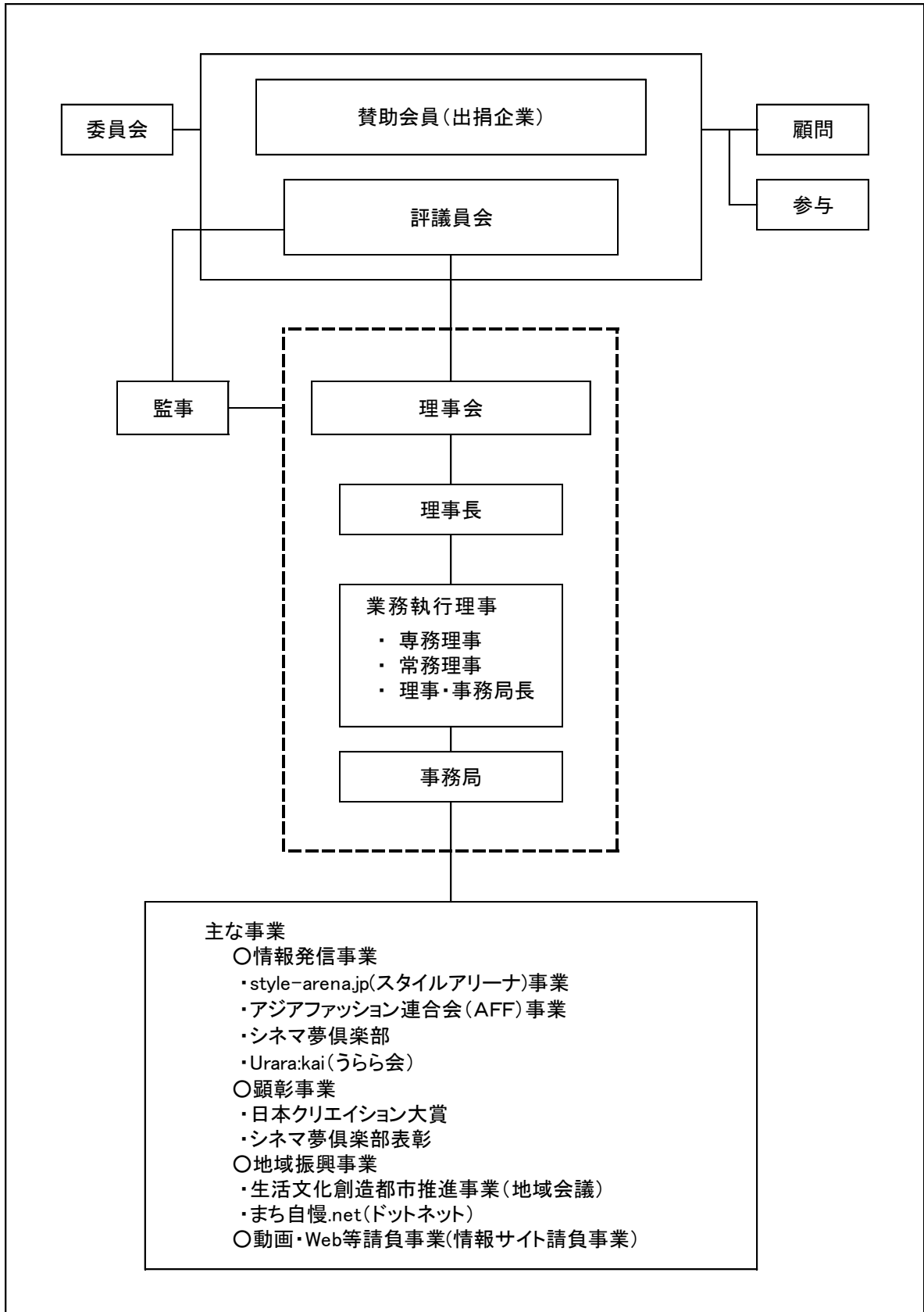
回数	日時・場所	内容
第 37 回	6月 10 日 (東京會館「アゼリア」)	議 件 (1) 2024 年度 事業報告書(案)の承認について (2) 2024 年度 収支決算(案)の承認について (3) 2024 年度 公益目的支出計画実施報告(案)の承認について (4) 第 28 回 評議員会の開催(案)について 報 告 (1) Urara:kai(うらら会)活動報告 (2) 資産の運用状況について (3) 業務執行状況について
第 38 回	7 月 15 日 (書面開催)	議 件 (1) 理事長、副理事長、専務理事の選定ならびに事務局長の選任(案)について (2) 業務執行理事の選定(案)について
第 39 回	2026 年3月9日 (日本商工会議所会議室A・B)	議 件 (1) 2026 年度 事業計画(案)の承認について (2) 2026 年度 収支予算(案)の承認について (3) 参与の委嘱(案)について (4) 第 29 回 評議員会の開催(案)について 報 告 (1) 資産の運用状況について (2) 業務執行状況について

#### 2. 評議員会

回数	日 時	内 容
第 28 回	6月 28 日 (書面開催)	決議事項 (1) 2024 年度 決算報告(案)の承認について (2) 評議員の選任(案)について (3) 理事の選任(案)について 報告事項 (1) 2024 年度 事業報告について (2) 2024 年度 公益目的支出計画実施報告について
第 29 回	2026 年3月 31 日 (書面開催)	決議事項 (1) 評議員の選任(案) (2) 理事の選任(案)について (3) 監事の選任(案)について 報告事項 (1) 2026 年度 事業報告について (2) 2026 年度 収支予算について

# IV. 組織

## 1. 組織図



## 2. 役員(理事・監事)・評議員・顧問・参与・相談役

(2026年3月31日現在)

(敬称略・順不同)

### 【理事】

理事長	日覺 昭廣	東レ株式会社 代表取締役会長
副理事長	滝 一夫	タキヒヨー株式会社 代表取締役社長執行役員
副理事長	伊藤 仁	日本・東京商工会議所 専務理事
専務理事	山下 健	東京商工会議所
理事・事務局長	會本 尚	日本商工会議所
理事	相原 幸子	学校法人 文化学園 理事(文化服装学院学院長)
理事	名取 和幸	一般財団法人 日本色彩研究所 理事長
理事	味岡 平一郎	株式会社 AJIOKA 取締役会長
理事	岩田 彰一郎	株式会社 フォース・マーケティング アンド マネージメント 代表取締役 CEO
理事	橋本 薫	旭化成株式会社 ライフイノベーション事業本部 ベンベルグ事業部 部長
理事	岩本 健太	TOPPAN ホールディングス株式会社 秘書室 室長
理事	鳥越 千裕	株式会社 資生堂 秘書・渉外部長
理事	栗栖 孝徳	本田技研工業株式会社 取締役会室 室長
理事	加藤 郁郎	株式会社 三陽商会 取締役兼副社長執行役員
理事	西森 浩文	株式会社 オンワードホールディングス 執行役員
理事	川口 晴人	一般社団法人 日本アパレル・ファッション産業協会 専務理事
理事	畑崎 充義	株式会社 ワールド 取締役
理事	松田 雍晴	YM オフィス 代表
理事	八代 比呂美	一般社団法人 次世代政策デザイン研究所 理事
理事	山口 玲子	株式会社 ヴィヴィッド・レイ 代表取締役社長
理事	渡辺 俊雄	元 NHK 衛星映画劇場 支配人

以上、理事 21 名(定数 15 名以上 25 名以内)、任期 2027 年6月評議員会まで

### 【監事】

監事	幸本 智彦	アクサ生命保険株式会社 代表取締役副社長
監事	萩平 勉	一般財団法人 ファッション産業人材育成機構 前理事長

以上監事2名(定数3名以内)、任期 2028 年6月評議員会まで

## 【評議員】

評議員	百瀬 二郎	株式会社 ツカモトコーポレーション 代表取締役社長
評議員	横山 和久	株式会社 ジェイアール東海高島屋 営業本部長
評議員	岩崎 有紀子	学校法人 岩崎学園理事 横浜 fカレッジ 学校長
評議員	山口 健太郎	株式会社 東京會館 取締役
評議員	久保田 俊樹	株式会社 そごう・西武 顧問
評議員	加藤 俊樹	株式会社 大丸松坂屋百貨店 取締役兼常務執行役員
評議員	井上 弥生	花王株式会社 化粧品事業部門 BCRセンター センター長
評議員	安東 良高	株式会社 電通 執行役員
評議員	渡邊 正一	コーティングデザイナー
評議員	齋藤 朝子	株式会社 ピアチェーレ 代表取締役会長
評議員	太刀川 英輔	公益社団法人 日本インダストリアルデザイン協会 理事
評議員	檜崎 博	八王子商工会議所 会頭
評議員	津田 貴美子	ライオン株式会社 経営サポート部 マネージャー
評議員	中西 一	ブルーミング中西株式会社 取締役社長
評議員	松本 恭子	福岡商工会議所 専務理事
評議員	大泉 和久	三井住友海上火災保険株式会社 広域法人部長
評議員	鈴木 康文	豊田通商株式会社 繊維事業本部 繊維企画グループグループリーダー
評議員	早川 謹之助	株式会社 エトワール海渡 代表取締役社長
評議員	横関 直樹	株式会社 松屋 取締役常務執行役員
評議員	犬竹 伸晃	株式会社 フジテレビジョン 常務取締役
評議員	内藤 満	株式会社 TSIホールディングス 取締役
評議員	岡田 美由紀	帝人フロンティア株式会社 衣料マーケティング部長
評議員	山田 晋右	大塚製靴株式会社 相談役
評議員	吉原 一雄	ゲートウェイ日本語学校 校長
評議員	鰐淵 美恵子	株式会社 銀座テーラーグループ 代表取締役会長

以上評議員 25 名(定数 20 名以上 35 名以内)、任期 2027 年6月評議員会まで

【顧問】

顧問	鳥井 信吾	大阪商工会議所 会頭
顧問	嶋尾 正	名古屋商工会議所 会頭
顧問	上野 孝	横浜商工会議所 会頭
顧問	堀場 厚	京都商工会議所 会頭
顧問	川崎 博也	神戸商工会議所 会頭

以上顧問5名

【参与】

参与	畠山 一成	日本商工会議所 常務理事
参与	廣田 恭一	札幌商工会議所 専務理事
参与	高山 秀樹	仙台商工会議所 専務理事
参与	綱島 知子	新潟商工会議所 専務理事
参与	小林 治彦	東京商工会議所 常務理事
参与	森 健二	横浜商工会議所 専務理事
参与	内田 吉彦	名古屋商工会議所 専務理事
参与	兒島 宏尚	京都商工会議所 専務理事
参与	井内 撰男	大阪商工会議所 専務理事
参与	楠山 泰司	神戸商工会議所 専務理事
参与	西本 尚士	広島商工会議所 専務理事
参与	新池 伸司	高松商工会議所 専務理事
参与	松本 恭子	福岡商工会議所 専務理事
参与	鳥越 孝治	一般社団法人 日本流行色協会 前専務理事

以上参与 14 名

《相談役》

相談役	岡田 卓也	イオン株式会社 名誉会長相談役
-----	-------	-----------------

以上相談役1名

以上